

打合せ議事録	
件名	平成 28 年度第 1 回区教育行政連絡会（中学校の部）
日時	7 月 25 日（月）17 時～18 時
場所	住之江区役所第 3－3 会議室
参加者	敬称略・順不同 【中学校長】 住吉第一 井川、加賀屋 鈴木、住之江 樋口、新北島 土谷、 南港北 田代、南港南 高島 【区役所】 西原（区長）、安藤（副区長）、長船（課長）、森（係長）、上野
内容	<p>（① 5 月 30 日の子ども・教育部会の議事録に沿って長船より説明） （② 公設民営学校について長船より説明） （③ 港湾局高橋理事からの依頼でクルーズ客船について長船より説明） （④ 区教育行政連絡会（小学校の部）であがった意見を長船から口頭で情報提供）</p> <p>【西原より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校選択制について、「〇〇区はこの制度をあまり使っていない」というような意見を耳にすることがあるが、個人的には、それで結構、と思っている。できる限り自分の校区の学校に行ってほしいという考えである。学校選択制が、自分の行く学校のことを知ろうとするきっかけになれば、と考えている。 ・ 学力の向上など、基本的には学校にお任せすべきだと考えている。区役所は、学校だけで解決することが難しく困っていることを支援したり、学ぶきっかけづくりをしたりしていきたい。 ・ 将来のイメージを持たず、なんのために学んでいるのかがわからない、といったこどももいると思う。そういうこどもにイメージを持たせるなど、キャリア教育にも協力していきたい。 ・ できることは限りなくやっていく。 <p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫校設立に向けての増設工事が影響し、来年度は今年度よりさらに生徒数が減ると予測される。生徒数が増えると教員が増え、部活が増え、活気がでる。小中一貫校がはじまるまでの体制について、管理職として危惧するところがある。（南港南 高島） <p>⇒別の学校に行きたいという人を妨げることはできないが、「この学校に行きたい」と思わせる学校づくりを、地域と連携しながらしていく必要がある。（西原）</p>

・南港緑小、南港渚小への公設民営学校の設置について、決まったことのためやるしかないのだろうが、課題を整理する必要はある。(住吉第一 井川)

・(公設民営学校について)公募して、本当に事業者が見つかって設置されるかどうかもわからない状況のため、南港はどうなってしまうのかと考える。うちの学校にも影響は出てくる。(南港北 田代)

⇒今回の公設民営学校は、公立中学校と競合するものではないと考えている。「咲洲をよくするためには教育環境を整えるべき」という、前住之江区長の考えには賛成している。咲洲に住んでもらうきっかけになれば。(西原)

・市教委は「今回の公設民営学校でやる教育を、公立中学校に広げていく」と言っているが、それは違うと考える。特殊な形態の学校がその学校内で完結することは、咲くやこの花中高一貫校の例から想像できる。(住吉第一 井川)

・新たな学校の設置は街の活性化のきっかけにはなるかもしれないが、一方で、せせらぎを埋め立てるなど、今ある街の魅力を減らしているように感じる。(南港南 高島)

⇒学校も街の魅力であると考えている。区役所として、今回の公設民営学校を南港へ誘致しないという手はなかった。都心の家賃が下がってきている中で南港の魅力を上げていくことは簡単ではないが、様々な手をつくしてまいりたい。(安藤)

・加賀屋塾には加賀屋中学校以外の生徒も来ているのか？(南港北 田代)

⇒真住中学校、新北島中学校から参加生徒がいる。(長船)

・来年度以降、南港でも塾をやるのか。(南港北 田代)

⇒今年度、加賀屋塾を成功させなければ、公募しても業者から手があがらない。様子を見て検討する。(長船)

・ICT機器がフリーズしてしまったりすると、授業が中断してしまう。ICT機器の扱いが得意な人に入ってもらえると、中断することなく、教員が集中して授業を行える。(住吉第一 井川)

⇒ICT機器を導入した授業を見学したが、確かにうまく活用されていなかった。教員向けの研修が十分でなければ、うまく扱えない。良い意見だと思う。(西原)

・(ICT機器活用のための)研修はあるが、参加できないことも多い。1回や2回の研修では、最大限活用するためには少ない。常駐でなくても、得意な人に巡回してもらえないか。校内で教えてもらえるのが一番効果的。(住吉第一 井

	川) ⇒検討する。(西原)
--	------------------